

東京レガシーハーフマラソン2023

【出場結果】

実施日 : 10月15日(日)

コース : 国立競技場前(外苑西通り)スタート～富久町～水道橋～神保町～神田～日本橋(第一折り返し)～神田～神保町～大手町・内堀通り(第二折り返し)～神保町～水道橋～富久町～国立競技場フィニッシュ

(日本陸上競技連盟/公認コース、ワールドアスレティックス/認証コース)

出場者 : 坪井 響己

リザルト:

	坪 井
タイム	1:03'40" (シーズンベスト)

【レポート】

パリオリンピックのマラソン日本代表選考会として開催されたマラソングランドチャンピオンシップ(MGC)のレースに日本中の注目が集まる中、同日併催されたレガシーハーフマラソンに当社から坪井が出場しました。

当日は朝から雨風が強く降りしきる気象コンディションとなり、記録を狙うには難しい条件下でしたが、国内外のエリートランナーが多く出場し、力試しのレースとして条件の整ったレースとなりました。



冷たい雨風の中、国内外のエリートランナーがスタートを待つ

ShinDengen /

レースは、外国人選手が先頭集団を形成しハイペースを刻む中、坪井も日本人選手の集団の中で力強い走りでもう一度ピッチを刻み 10 kmを 29 分 36 秒台で通過、後半の走り次第では自己ベストの更新にも期待が高まりました。



冷たい雨の中でも力強い走りでもう一度ピッチを進める坪井

激しく降りしきる雨風の影響もあり、後半はややペースを落としたものの、力強い走りは変わらず、ゴールのある新国立競技場まで軽快にピッチを刻み、シーズンベストとなる 1 時間 3 分 40 秒でのゴールとなりました。



新国立競技場内でラストスパートを見せる坪井



シーズンベストおめでとう！！

【総評】

東日本実業団駅伝を2週間後に控える状況でのレースとなりましたが、気象コンディションの悪い中でも力強い走りを見せ、シーズンベストをマークする収穫のあるレースとなりました。

普段から非常にストイックに練習に取り組む、チームに活力を与えている坪井が、結果を示してくれることで、チーム全体にも良い刺激となり、追い風になっていると感じております。

昨年は総合20位と非常に悔しい結果となった東日本実業団駅伝ですが、選手達は一年間その悔しさをバネに競技活動に取り組んできましたので、当日は悔いのない襷リレーが出来ると確信しております。

各選手ともベストパフォーマンスで当日を迎えられるよう、まずは、残りの期間の体調管理を第一にして、日々を無駄なく大事に過ごして参ります。

引き続きまして、皆さまの温かいご声援を宜しくお願い致します。

以上